

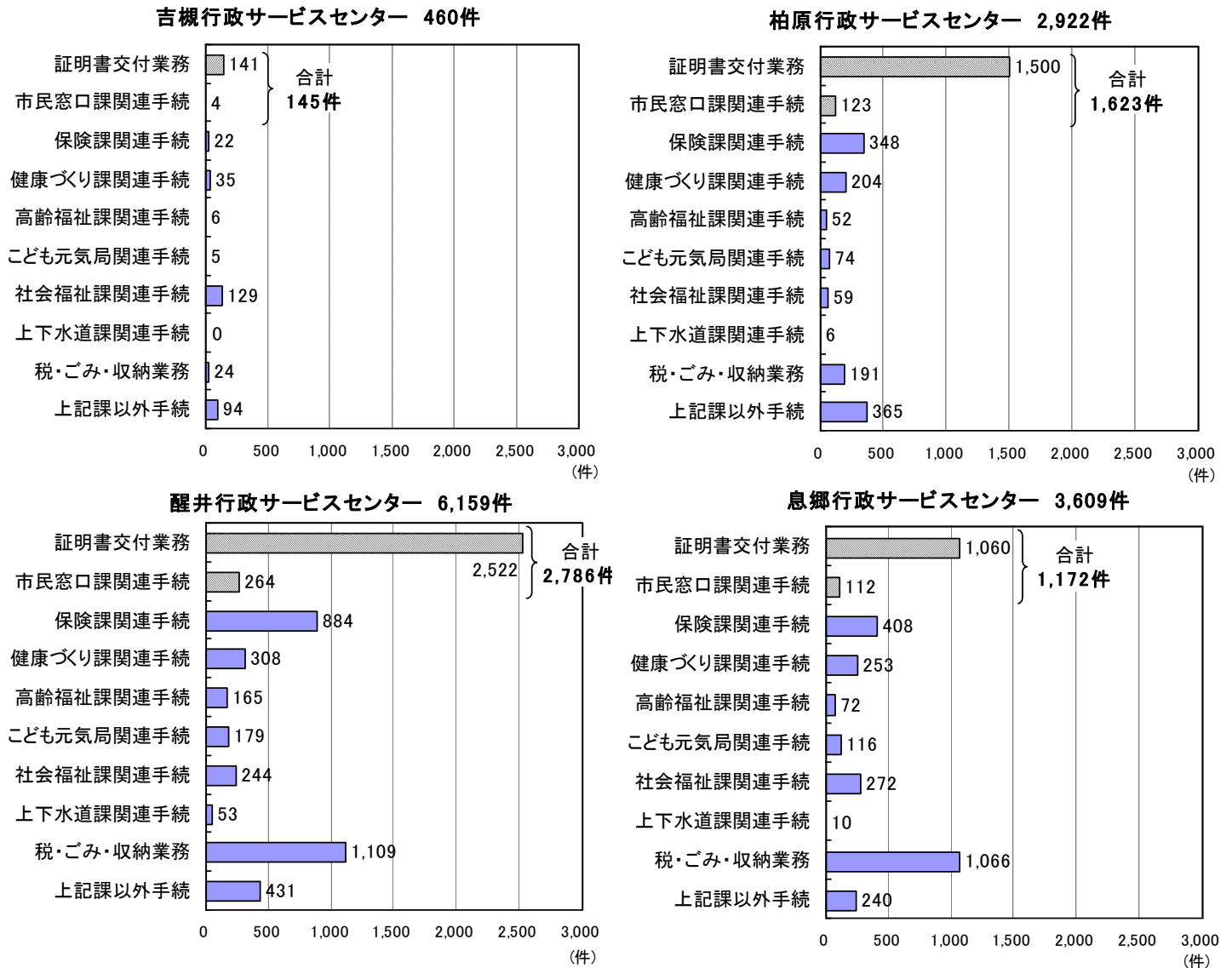
## 行政サービスセンターの今後の在り方に関する議論

### (1) 行政サービスセンターにおける取扱業務の実態

◎行政サービスセンターの利用件数は年間約 500 件から 6,200 件程度である。

- 行政サービスセンターでの年間業務取扱件数は、年間約500件～6,200件である。
- その多くは、各庁舎・市民自治センターと同様に、証明書交付業務となっている。

図表 1 市民自治センターにおける取扱内容別年間業務取扱件数（平成 22 年度）



※証明書交付業務内容

- ・住民票 ・戸籍／除籍 ・印鑑登録・証明 ・税証明 ・仮ナンバー交付 ・その他業務 等

※税・ごみ・収納業務

- ・税収納 ・ごみ袋販売 ・料金収納 ・その他

	市民自治センターの主たる業務
	ワンストップサービスを実施するために、所管担当課以外に行政サービスセンターで受付けている業務

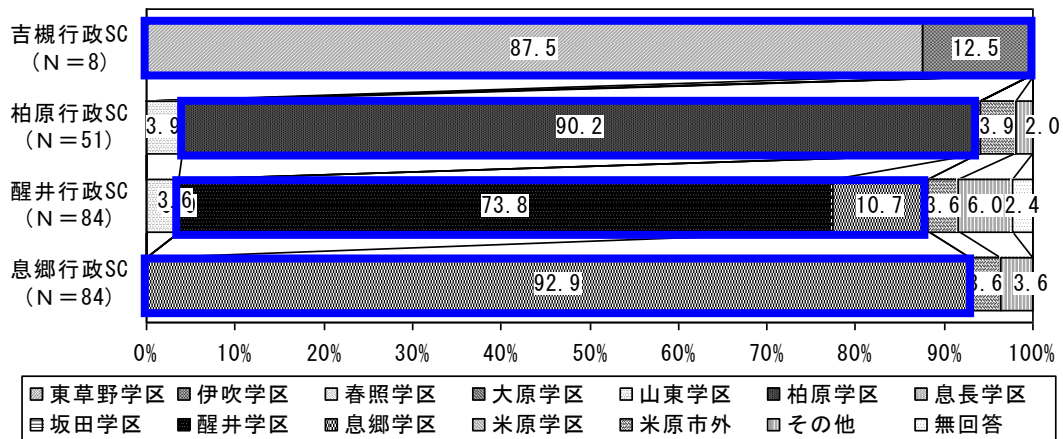
(資料) 米原市提供「窓口業務取扱件数表（平成 22 年度）」

(2) 行政サービスセンターにおける来庁者の属性（来庁者アンケートより）

- ◎来庁者は、地元小学校区に居住している住民が中心となっている。
- ◎各行政サービスセンターへの来庁手段は、自家用車が最も多い。

- ・各行政サービスセンターを利用している来庁者は、地元小学校区の住民が70%を占めている。
- ・各行政サービスセンターへの来庁手段は、自家用車が最も多く、約40%～70%を占めている。

図表 2 来庁者の居住地

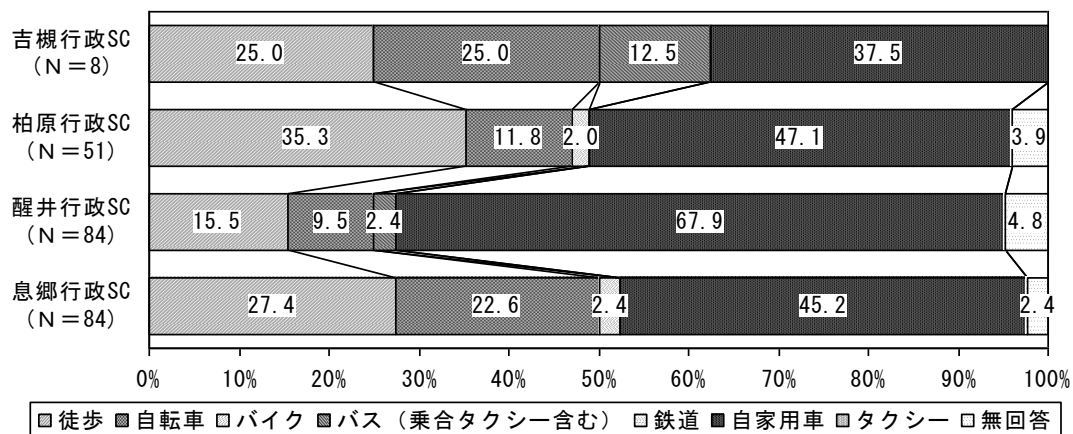


(注) 各庁舎において回答率が3%未満の小学校区は「その他」に集約している

【旧町名と小学校区】

旧町名	小学校区
伊吹町	東草野学区 伊吹学区 春照学区
山東町	大原学区 山東（旧山東東・旧山東西）学区 柏原学区
近江町	息長学区 坂田学区
米原町	醒井学区 息郷学区 米原学区

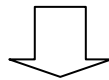
図表 3 来庁者の来庁手段



(3) 今後の行政サービスセンターの在り方について（本日の議論）

行政サービスセンターの在り方としては、例えば次の3つが考えられます。ほかにもあると思いますので、御意見ください。

- ①行政サービスセンターをすべて廃止する。（宅配サービスなどの代替サービスを確保する）
- ②行政サービスセンターを他の市役所サービス機能の事務所と併設するような形とし、職員も併任させる形とする。（現状で併設しているところでも事務所は別）
- ③市民自治センターと行政サービスセンターの8か所を統合し、4か所+αに再編する。機能的には市民自治センターの窓口・相談機能部分のみとすることが想定されます。



上記の議論いただいた結果を、米原市庁舎等の在り方に関する提言書（案）36ページに「今後の市庁舎等の在り方についての提言」内容として盛り込みます。なお、盛り込むイメージは下記のとおりです。

- 行政サービスセンターについては、●●●●。 （以下は、本日の会議での検討を踏まえて記述。）

《理由》

- ▶ 行政サービスセンターについては周辺の住民のみの利用に限定されていること
- ▶ 行政サービスセンターは一人職場であり執務環境に問題があること
- ▶ コンビニ、インターネット等でのサービスが全国的に進みつつあること
- ▶ ※※※※※※※※※※